

財団法人 日本サッカー協会  
平成 18 年度 第 2 回理事会

## 協議事項

1. 東アジアサッカー連盟 副会長職推薦の件
<p>東アジアサッカー連盟の第 3 回総会が、2006 年 7 月 20 日(木)北京で開催される。その席にて、2006/2007 理事会メンバー（任期：同日より 2 年間）が選出される。</p> <p>会長は中国サッカー協会から選出され、副会長は J F A と韓国サッカー協会から 1 名ずつ選出される。残る 6 協会から理事が 1 名ずつ推薦される。</p> <p>東アジアサッカー連盟 副会長に、小倉副会長を推薦することとしたい（推薦の締切り：2006 年 6 月 5 日）</p> <p>尚、東アジアサッカー連盟 初代会長（任期：2002 年 5 月より 2 年間）は岡野名誉会長、第 2 代会長（任期：2004 年 6 月より 2 年間）は韓国サッカー協会の鄭 夢準会長が選出されている。また、2004/2005 理事会メンバーには、副会長に小倉副会長が選出されている。</p>
2. 評議員交代の件
<p>(財)鳥取県サッカー協会 (現)理事(事務局長)佐々木 守 → (新)副会長 広江 正</p>
3. 日本サッカー協会認定選手エージェント試験の件
<p>実施日 2006 年 3 月 30 日(木) 受験者数 7 名 合格者数 1 名 合格者名 秋山祐輔(アキヤマ ユスケ) 1974 年 4 月 20 日生まれ (32 歳)</p> <p>※ 筆記試験は、F I F A より出題された 15 問と国内問題 5 問の合計 20 問(40 点満点)で実施し、26 点以上を合格点(F I F A 規定による)とした。</p> <p>また、F I F A から最低合格点に関する通達があり、合格点の変更を過去の試験に遡って適用することとしたため、下記の過去の受験者についても合格者とする。</p> <p>北川義隆(キカガリ ヨシカ) 1970 年 12 月 14 日生まれ (35 歳) 宮田正志(ミヤタ マシ) 1975 年 9 月 29 日生まれ (30 歳) 清岡哲朗(キヨカ テツロウ) 1970 年 7 月 30 日生まれ (35 歳)</p>

尚、合格者には、JFAが指定した職業賠償責任保険への加入と職業行動規範誓約書の提出が義務付けられている。

#### 4. 2007年以降のトレセン改革の件

世界トップ10を果たすため、トレセン改革の一環として、下記の通りナショナルトレセンU-16とU-14の開催方法を変更する。(ナショナルトレセンU-12は従来どおり開催する。)

理由は、従来の年1回開催ではなく、代表活動と連携した年複数回開催を実施し、継続的な活動を行ない、国際競争力を高めるため。ナショナルトレセンU-16はU-17ワールドカップを目指すチームの活動を勘案し、狭間となる年代(U-16,U-15)を隔年で行なう。

※別紙資料No.1

#### 5. ナショナルトレセンコーチ契約の件

氏名：足達 勇輔

分掌：ナショナルトレセン〔東北チーフ〕

期間：2006年5月1日～2007年1月31日

※ 足達氏のチーフ就任に伴い、2月1日より東北チーフを代行していた島田信幸氏は東北担当となる。

※別紙資料No.2

#### 6. JFAエリートプログラムの件

行事名：JFAエリートプログラム トレーニングキャンプ

期間：2006年5月31日(水)～6月4日(日)

場所：Jヴィレッジ

[スケジュール]

5月31日 集合 トレーニング

| トレーニング

6月4日 解散

[スタッフ]

U-14 監督：須藤 茂光 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)

U-14 コーチ：吉武 博文 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)

U-13 監督：池内 豊 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)

U-13 コーチ：島田 信幸 ((財)日本サッカー協会 ナショナルトレセンコーチ)

GKコーチ：未定

アドバイザー：クロード・デュソー (元フランスサッカー学院校長)

ドクター : 未定  
 テクニカルサポート : 未定  
 総務 : 島田 信男 ((財)日本サッカー協会 技術部)

[ 選 手 ]

※次回報告

#### 7. 2005年度(平成17年度)公認S級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため  
 下記4名を公認S級コーチと認定する。

氏 名 : ハーフナー・ディド  
 指導チーム : 横浜F・マリノス  
 生年月日 : 1957年9月26日(48歳)  
 資 格 : 2003年 America A  
 指 導 歴 : 1992年～1993年 日本代表 GK コーチ  
           1999年～2002年 コンサドーレ札幌  
           2003年～ 横浜F・マリノス

氏 名 : 武田修宏  
 指導チーム : 東京ヴェルディ1969ユース  
 生年月日 : 1967年5月10日(38歳)  
 資 格 : 2003年 公認B級コーチ  
 指 導 歴 : 2004年～JFA アンバサダー  
           2005年～東京ヴェルディ1969ユース

氏 名 : 島田信幸  
 指導チーム : JFA アカデミー福島(男子)  
 生年月日 : 1961年8月31日(44歳)  
 資 格 : 2000年 公認B級コーチ  
 指 導 歴 : 1990年～1993年 鈴鹿市立大木中学校  
           1993年～1998年 鈴鹿市立神戸中学校  
           1998年～2005年 鈴鹿市立白鳥中学校  
           1990年～2005年 三重県トレセン、東海トレセン スタッフ  
           2001年 U-14日本選抜 コーチ  
           2003年～2004年 JFA エリートプログラム コーチ

氏 名 : 三浦泰年  
 指導チーム : 静岡FC、FCトッカーノ  
 生年月日 : 1965年7月15日(40歳)

資格 : 2003年 公認B級コーチ  
 指導歴 : 2002年～2005年 FCトッカーノ、ヤスサッカースクール  
 2004年～2005年 ヴィッセル神戸

#### 8. 2005年度（平成17年度）公認A・B級コーチ養成講習会判定結果の件

※別紙資料No.3

#### 9. 2006年度（平成18年度）公認S・A・B級コーチ養成講習会受講者の件

※別紙資料No.4

#### 10. JFA公認キッズリーダーの指導者登録の件

これまで、キッズリーダーの指導者登録は実施していないが、「何らかの形で、JFAとの関係を持っていたい」「テクニカルニュースを読みたい」等々の意見がある。こうした意見に応え、キッズリーダー養成講習会合格者の中で指導者登録を希望し、必要な手続きを完了したのものには、D級コーチと同等のサービスと受けることを可能とする。

※別紙資料No.5

#### 12. 2006年競技規則改正の件

2006年競技規則の改正は別紙のとおりとする。

※（協）別紙資料No.6

#### 13. フットサル1級審判員昇級制度の設置の件

来年に予定されるフットサル全国リーグの開催に向けた準備、またフットサルを専門に行っている2級審判員の昇級と更に高いレベルでの審判活動の場を提供するため、フットサル2級審判員を対象としたフットサル1級審判員認定を開始する。

※別紙資料No.7

#### 14. 審判委員会の委員交代の件

村松 幸雄の定年に伴い、審判委員会の委員（地域審判委員長部会部長）を交代する。

氏 名：綱島 四郎（ツナシマ シロウ）  
 生年月日：1942年4月15日（64歳）  
 交代日：2006年4月1日

#### 15. 第30回全日本少年サッカー大会 功労者表彰の件

30回大会を記念して、決勝大会・都道府県大会にご尽力いただいた方・団体に対し表彰を行なう。なお、表彰者は「選考委員会」にて決定する。

##### <選考委員会>

委員長 綾部美知枝（第4種大会部会 部会長代行）  
 委員 小幡忠義、齋藤瑛明、今西啓悦（4種部会 部会員）  
 山岸二三夫（(財)日本体育協会スポーツ少年団 常任委員）  
 高橋誠司（読売新聞東京本社 事業局スポーツ事業部 サッカー推進事務局）  
 渡辺真人（(財)日本サッカー協会 事業部長）（以上7名）

##### <表彰内容>

###### ■ 都道府県表彰

対象期間：第21回～第30回 都道府県大会  
 基準：◇都道府県において、長年にわたって少年サッカーの普及と本大会の発展に尽力された方  
 ◇過去に表彰されている方の再度表彰も可能とする  
 選考人数：各都道府県より最大3名まで推薦（内1名は現職大会実施委員長とする）

###### ■ 決勝大会表彰

対象期間：第21回～第30回 決勝大会  
 基準：◇長年にわたって少年サッカーの普及と本大会の発展に尽力された方  
 ◇過去に表彰されている方の再度表彰も可能とする

※表彰者は7月理事会にて報告。

#### 16. 第5回 全国シニア（50歳以上）サッカー大会 人工芝使用の件

平成18年度大会において人工芝ピッチを下記の通り使用をすることとする。

##### <大会概要>

主 催 財団法人日本サッカー協会  
 主 管 財団法人岡山県サッカー協会  
 会 場 岡山県美作ラグビー・サッカー場（芝生）  
 岡山県美作ラグビー・サッカー場：第一補助競技場（芝生）  
 岡山県美作ラグビー・サッカー場：第二補助競技場（芝生）

岡山県美作ラグビー・サッカー場：第二補助競技場（人工芝）

開催期間 6月9日（金）～6月11日（日）

&lt;使用方法&gt;

1. 施設はJFAロングパイル人工芝公認ピッチ（公認23号）を使用する。
2. 人工芝ピッチの使用はグループリーグにおける1面（全4面）とし、最大6試合を限度とする。

17. キャプテンズ・ミッション（CHQ）関連事項について**I. 平成18年度「JFAメンバーシップ制度基本還元金」について（協議事項）**1. 交付金「法人格」の対象協会（現段階：合計40協会）

## ➤ 宮城県サッカー協会

- 1) 法人格を取得した時期：2006年4月6日
- 2) 法人の形態：社団法人
- 3) 届け出書受付日：2006年4月20日
- 4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

## ➤ 福島県サッカー協会

- 1) 法人格を取得した時期：2006年4月24日
- 2) 法人の形態：財団法人
- 3) 届け出書受付日：2006年4月30日
- 4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

## ➤ 山梨県サッカー協会

- 1) 法人格を取得した時期：2006年4月1日
- 2) 法人の形態：社団法人
- 3) 届け出書受付日：2006年4月3日
- 4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

## ➤ 愛知県サッカー協会

- 1) 法人格を取得した時期：2006年4月1日
- 2) 法人の形態：財団法人
- 3) 届け出書受付日：2006年4月18日
- 4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

## ➤ 香川県サッカー協会

- 1) 法人格を取得した時期：2006年4月12日
- 2) 法人の形態：社団法人
- 3) 届け出書受付日：2006年4月24日
- 4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

## ➤ 愛媛県サッカー協会

1) 法人格を取得した時期：2006年4月5日

2) 法人の形態：社団法人

3) 届け出書受付日：2006年4月13日

4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

➤ 長崎県サッカー協会

1) 法人格を取得した時期：2006年4月21日

2) 法人の形態：社団法人

3) 届け出書受付日：2006年4月26日

4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

➤ 鹿児島県サッカー協会

1) 法人格を取得した時期：2006年4月25日

2) 法人の形態：社団法人

3) 届け出書受付日：2006年4月27日

4) 支給金額：100万円

※平成18年度の内、4月～6月での認定となるため、規定により100%を支給。

II. その他（報告事項）